

市議予定候補

藤田

ふじた

田

つとむ

党調布市雇用・くらし対策チームリーダー
元雑誌編集者



だから、調布市政に挑戦！

大学を卒業してから20年近く、出版社を中心に働いてきました。雇用形態は正規、非正規共に経験しましたが、今話題の「裁量労働制」でした。

納期や締切に追われる仕事のため、就業時間内に終わらず、毎日終電まで働き、ピークの時は朝まで徹夜。時には土日出勤、自宅での持ち帰り仕事をすることも多々ありました。働いているときは目の前の業務をこなすことに手いっぱい、自分の働き方に対して疑問を感じ、熟慮することはありませんでした。しかし今振り返ってみると“拘束時間は長い”“休日は少ない”“給料は安い”、いわゆる「ブラック」な働き方そのものでした。

そういう現場感覚を生かして、日常的に激務に追われている“働き世代”の人たちが少しでも快適な日々を過ごせるようにしたい。市民の目線を大事にしながら一人でも多くの方が「調布に住んで良かったな」と、実感できる様な施策を提案し、実現していきます。



プロフィール 藤田つとむ (ふじたカ)

1977年4月生れ。都立狛江高校、桜美林大学国際学部卒。大手出版社、制作会社などを中心に会社員として働く。現在、党調布狛江府中地区委員会に勤務。つつじヶ丘在住。趣味はサッカー観戦、スニーカー集め。



お問い合わせ、暮らし・雇用のご相談
☎042-485-3161(調布市委員会)
☎042-336-9531(地区委員会)
メール jcpckf-info@yahoo.co.jp

東京
民報

2022年春・夏号外 日本共産党調布狛江府中地区委員会の
見解を紹介します 発行/東京民報社(港区芝9-4-1平和会館5階)
1965年11月12日第三種郵便物認可

ウクライナに平和を 侵略NOつらぬいて100年

日本共産党

(カ)

藤田つとむの歩みと決意

■華やかな業界…実態はブラック企業

大学卒業後、主に出版社に勤務。街あるき系の某有名週刊誌、原宿系ファッション誌、メンズ髪型誌、主婦層向け通販誌などの取材・編集に携わってきました。あるメンズファッションのサイト運営を担った時には、最高時100万以上のアクセス数を稼ぎ会社からも高く評価されました。

しかし、最初の会社では契約社員、次の会社では業務委託…実態は正社員同様毎日出勤し、連日徹夜、タクシーで帰宅。社員と一緒に同じ仕事をして、賃金には大きな格差がありました。正社員として勤めた別の会社では裁量労働制で、ここでも徹夜、土日はほぼ休みなしという働き方が続きました。残業代は出ませんでした。最後に勤めた会社でも朝10時に出勤し深夜3時に帰宅、翌朝10時に出勤、帰宅のタクシー代も自腹という日々が続きました。



藤田つとむが
手がけてきた
雑誌の一部

■日本共産党に入党

こうした働かされ方に強く疑問をもつようになり、「労働問題に長けているのは共産党だ。話を聞いてみたい」と思い、ドアを叩きました。

もともと、家族それぞれの主義主張がはっきりしていて、政治についてもよく話をする家庭に育ち、政治に興味がありました。「嫌だと思えばアクションをおこさない」という考えで選挙には必ず行き、一番意見が近かった日本共産党に投

票していました。

入党し、忙しい仕事の合間を縫って活動に参加するなかで、市政への挑戦を呼びかけられました。「寝耳に水」の思いでしたが、「自分の経歴を生かして、働き世代やシングルの人たちにスポットがあたるような施策が提案できれば」と決意しました。

■スポーツが得意

小さい頃から運動が得意で足が速かった藤田つとむ。中学ではリレーのメンバーや市の体育大会の走り幅跳びの選手をつとめました。高校ではラグビー部に所属し(ポジションは左ウイング)、練習では多摩川土手をよく走っていました。サッカーも好きでFC東京の試合も頻繁に観戦しています。

■国際平和を願って

小学生の時、親の仕事で1年間エジプトに。その間、欧州や中東など20か国を訪ねました。エルサレムに行った時には「三つの宗教の基礎がここにあるのか」と子ども心に驚きました。02年にはサッカー日韓ワールドカップを韓国で観戦。日本代表のユニフォーム姿でいるところを現地メディアに取材され、全国ネットで放映されました。

今、ロシアのウクライナ侵略が世界に衝撃を与えています。国際法違反のプーチン政権の侵略を許さない国際世論を広げ、一日も早くロシア軍を撤退させるとともに、憲法9条を生かした平和なアジアの実現へ。そしてあらゆる国籍・SOGI(性自認・性的指向)の方が暮らしやすい平和なまちづくりに決意を新たにしています。

市政の約束

- 一人親世帯の子育て就労支援や、働くことができない方、引きこもり当事者とその家族への、市独自のケア
- 子育て世帯や基礎疾患のある家庭に抗原検査キットを配布
- 高齢者を「デジタル難民」にさせない対策を強化
- 官制ワーキングプアをなくす「公契約条例」を策定
- 陥没事故を起こした外環道工事はキッパリ中止に

国政の約束

- ブラック企業をなくす。非正規もフリーランスもふくめ皆に“やさしく強い経済”へ
- 消費税「インボイス制度」は今すぐ中止、5%に引き下げる
- ロシア・プーチン政権にすり寄った“安倍外交”を清算。ロシア政府に全千島の返還を要求する
- 核兵器を使わせない唯一の道は核兵器廃絶。「核兵器禁止条約」に参加する
- 政治の責任で性暴力ゼロへ

私たちが藤田つとむさんと力をあわせます

日本共産党調布市議団



雨宮幸男



むとう千里



岸本なお子



坂内 淳

日本共産党参議院議員



調布在住
党政策副委員長

山添 拓
(東京選出)



党副委員長・
政策委員長

田村 智子
(比例選出)